

令和2年度 地域共生社会推進セミナー
～地域共生社会とSDGs～『誰一人取り残さない』
開催要綱

1 開催趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大のため、住民の安心・安全な地域生活が脅かされ、経済が停滞し解雇・離職、収入減少等による生活困窮者の増加とともに、「距離をとる」「集まらない」などの新たな生活様式は、地域における人と人とのつながりを途切れさせ、つながりづくりを進めてきたボランティア活動や市民活動にも大きな影響を及ぼしています。

こうした中、国においては、地域においてコミュニティを育成することで、地域住民が世代や背景を超えてつながり、相互に役割を持ち、「支え手」「受け手」という関係を越えて支え合う「地域共生社会」を進めています。さらに、国際的には「持続可能な開発目標SDGs」が示され、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現に向けた取組が進められており、これは、「地域共生社会」づくりにつながるものであります。

本セミナーは、こうした動向を受け、福祉サービスや社会貢献活動に取り組む地域住民、社会福祉法人、民間支援団体、企業、学校、行政、社協等の関係者が、相互に研鑽、交流を深めることをもって、皆で支え合う地域共生社会の実現に向けた新たなつながりとアイデアの創出に寄与すべく開催するものです。

2 開催日時

令和2年12月9日(水) 午後1時30分～午後5時(午後1時受付開始)

3 開催場所

アイリス愛知(名古屋市中区丸の内二丁目5番10号)

4 主 催

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会

5 後 援(予定)

愛知県・名古屋市・中日新聞社会事業団・東海テレビ福祉文化事業団・NHK厚生文化事業団中部支局・愛知県商工会議所連合会・愛知県経営者協会・愛知県商店街振興組合連合会・公益社団法人日本青年会議所愛知ブロック協議会

6 参加対象

社会福祉施設関係者、自治会・町内会・商店街の代表者、社会貢献活動に関心のある企業・NPO・ボランティア・農協・生協・住民参加型在宅福祉サービス団体の関係者、学校教員・生徒、市町村行政職員、市町村社協職員 等

7 内容と日程

別表のとおり

8 参加定員

100人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員になり次第締め切らせていただきます。

9 参加費

1,000円(当日受付にてお支払いください。おつりの無いようご協力をお願いします。)

※高校生は無料です。

10 参加申込

別紙の参加申込書に必要事項を記入のうえ、令和2年11月30日(月)までに、愛知県社会福祉協議会地域福祉部あてファクシミリ、または郵送にてお申し込みください。

11 その他

- ・会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用をお願いいたします。また、受付での検温及びアルコール消毒液での手指の消毒にご協力ください。
- ・セミナー当日、東海北陸ブロック内等で震度5弱以上の地震が発生した場合及び東海地震の予知情報（警戒宣言）又は注意情報が発表され、解除されていない場合、または、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、社会経済活動の規制が再度強化された場合は、本セミナーを中止します。

また、荒天の場合、開催地において特別警戒警報、暴風警報のいずれかが本セミナー開始2時間前までに解除されていない場合は、原則として研修を中止します。

- ・原則は、上記のとおりですが、開催の判断に迷う場合は、愛知県社会福祉協議会のフェイスブックにて確認してください。URL <https://www.facebook.com/aichi.fukushi/>

12 問い合わせ・申込み先

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 地域福祉部（田中）

〒461-0011 名古屋市東区白壁一丁目50番地

TEL (052) 212-5502 FAX (052) 212-5503

（会場案内）会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

【アイリス愛知】

〒460-000

名古屋市中区丸の内 2-5-10

TEL 052-223-3751

FAX 052-223-3760

- 地下鉄鶴舞線「丸の内」駅
4番出口から徒歩8分
- 地下鉄桜通線「丸の内」駅
4番出口から徒歩8分
- 地下鉄名城線「久屋大通」
駅1番出口から徒歩10分
- 地下鉄名城線「市役所」駅
4番出口から徒歩8分



令和2年度 地域共生社会推進セミナー 日程表

開催日：令和2年12月9日（水）午後1時30分～午後5時

会場：アイリス愛知 2階 コスモス

時間	次第	内容
13:00	受付	
13:30～	開会	
13:30 ～14:30 (60分)	I 講話	『SDGs とは何か。社会はどうか変わるのか～市民社会組織の視点から～』 【講師】 一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク 理事・事務局長 新田 英理子 氏
		<p>新田 英理子 氏 一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク 理事・事務局長。 高校卒業まで富山県高岡市で過ごし、大学時代は京都へ。東京の民間企業の社員教育部門に3年半勤務。退職後環境 NPO などでの嘱託スタッフやボランティアを経て98年4月より日本 NPO センターに勤務。2014年8月から2017年3月まで事務局長。2017年4月から2019年3月まで、一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワークと日本 NPO センターを兼任。主に NPO に関する相談、研修、全国大会などの企画・運営と NPO 法人制度に関するアドボカシー事業を行う。</p> <p>また、行政や企業の NPO との連携・協働プログラムの相談や企画運営を行う。パートナーシップが最大限発揮され SDGs が達成されることを目指し、活動中。</p> <p>2020年2月、経営者協会トップセミナーにて SDGs の講演会、2020年6月号月刊福祉に、SDGs とボランティアについて論文を寄稿。他に、京都精華大学評議員、科学技術（JST）STI for SDGs 審査員、足立区協働・協創パートナー基金審査会審査委員長、法政大学人間環境学部非常勤講師（NPO・ボランティア論）等</p>
(10分)	休憩	
14:40 ～16:00 (80分)	II 事例報告会	<p>～地域共生社会と SDGs～ 『誰一人取り残さない』</p> <p>【コーディネーター】 愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会 委員長 鈴木 盈宏 氏 (公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・愛知理事長)</p> <p>【助言者】 新田 英理子 氏</p> <p>【報告テーマと報告者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「愛知県の SDGs の取組」 愛知県政策企画局企画調整部企画課 主査 奥村 麻奈美 氏 ・「なぜ、社協が SDGs に取り組むのか？」 社会福祉法人稲沢市社会福祉協議会 主査 加藤 泰章 氏 株式会社ベンリーコーポレーション 営業本部営業企画部 シニアマネージャー 塩沢 護 氏 ・「地域住民への買い物支援の取組」 社会福祉法人愛知慈恵会 一宮市包括支援センター萩の里 センター長 坂崎 雄清 氏 一宮市萩の里特別養護老人ホーム 施設長 徳田 清仁 氏
16:00 ～17:00 (60分)	III ネットワークタイム	参加者皆さんによる、新たな出会いの場、新たなアイデア発見のきっかけづくりのための交流会